

こがねや通信

ゆかり野

第43号

ゆかり野とは、
小誌が人と人のご縁（ゆかり）を大切にしたい、
という弊社の願いを表しています。



特集

「命の輝きを描く」

葉画家 群馬直美

◎心を育てることも仏教塾

本当のことは一つ

◎脳の体操クイズ&抽選プレゼント

♪ジャイアンツ戦ベアチケット♪

命の輝きを描く

葉画家 群馬直美

2011年より弊誌「ゆかり野」の表紙に作品を提供して下さっている葉画家 群馬直美さん。
*英国王立園芸協会主催のポタニカルアート&写真展で初出展にして最高賞を受賞されました。作品への想いなど、お話を伺いました。



葉画家として

—なぜ葉っぱを題材に?—

「大学生の頃、自分の表現に疑問を抱き作品が作れなくなっていました。そんな時、ジョギング中にふと見上げた光景：「枯れ枝のように見えていたところに新緑が芽吹いて、太陽の光に透けてすごく美しかった」その美しさに癒されたというか：救い出されたような気がしました。」

この輝きと美しさを伝えることが出来たら：とその翌日から葉っぱの作品を創るようになりました。」



葉っぱの精神

「この世の中のひとつひとつのものはすべて同じ価値があり光輝く存在である。」

「一枚の葉っぱと向き合い、虫食い穴や病気による変色を見ながら、この葉っぱはどんな経験をしてきたかと思像しながら描いていきます。丹念に描き込んでいくと葉っぱたちが美しく輝きだすのです。」

葉っぱを描き始めてから38年、現在も葉っぱたちを描き続けている群馬さんの創作の原点には、この「葉っぱの精神」があります。

RHS 最高賞受賞

「下仁田ネギの一生」について

約250年続く伝統農法の農家に通い、種まきから出荷までの農作業を体験。ネギが育つ過程を3年以上かけて描き上げた6枚組の力作。

「表面について土もネギの命を支えていると思うと、すべてのことに意味と価値を感じ、何一つ省いて描くことはできなかつた。」と振り返ります。

群馬さんは、「ネギに宿る命の輝きを見て欲しい。」と話します。

ゆかり野とのご縁

「10年前、こがねや石材の方が個展に来て下さって、ゆかり野の表紙に：」とお声かけ頂きました。それから、春と秋の年2回表紙を飾らせて頂いています。長きに渡る良いご縁ですね。」

「私たちも一枚の葉、ありのままの自分で輝き出したら、地球は今よりずっと幸せな一本の樹になるに違いありません。」

群馬さんの命に対する優しさ、温かいメッセージが伝わってきます。

※英のポタニカルアート展 絵画部門には世界中からの応募があり、書類審査を経た30人が出品。全6点から成る作品を評価されます。なかでも群馬さんの作風や着眼点が「画期的」と審査員満場一致の評価で最高賞に選ばれました。

私が出会った葉っぱくんたち 〜命の曲がり角〜

ひと月余り入院した。

真夜中の病院のベッドで眠っていると、たくさんの人たちの寝息が聞こえてくる。スヤスヤ、スヤスヤ……。ここは、大勢の葉っぱくんたちが集う一本の木みただ。この癒しの木には、一時間ごとに葉っぱの看護師さんが、様子を看に来てくれるし、懐中電灯の灯りで、夜の魔物も追っ払ってくれる。なんだか、今まで生きてきた人生で、一番幸せな気がする。どんな時にも所にも、幸せの種は必ず落ちている。

「そろそろボケの実が熟している頃……」
見舞いに来た葉っぱワークショップの受講生、Tさん、植物に詳しい他の受講生たちに次々と連絡を取り、翌日には病室に、ボケの実を持って来てくれた。

「うわあ、凄い！」初めて目にするボケの実に、大興奮の私。おまけに、可憐な花枝まである。枝の向こうに、ふるさが見えるよ。病室が、田んぼの畦道に変わった。描かない訳にはいかない。

点滴をしながら、夢中でボケの花を描いていると、お掃除のおばさんやお姉さん、看護師さんやお医者さんたちが、写真と見紛う絵の誕生に、目を丸くして驚いた。



一方私は、実の中に潜む小さな虫くんが、ぷりぷりと排泄する金色に輝く美しいうんちの量に、びっくり。

ボケくんはといえば、埼玉の畑の片隅から、突然、御茶の水の病院の十二階に連れてこられて、これまた、びっくり仰天である。あんまりびっくりしたせいか、冬芽たちが続々と目覚め、新緑も芽吹きだした。

その様子にまたもや仰天の私は、絵筆にさらなる力を込める。するとみんなが、益々驚く。このようにして、びっくりボケ・パワーが、院内を駆け巡ったのだ。

手術をはさんで病院で描き上げた。命の曲がり角で出会った、ボケの枝……。たくさんの命の支えで、描くことができました。心より感謝、致します。

『言の葉 葉っぱ唇』

けやき出版より

(2012年、ガンの闘病の際のエッセイ)

群馬 直美さん プロフィール

群馬県高崎市生まれ。東京都立川市在住。東京造形大学 絵画科卒業。

1991年 緻密な描写のできるテンペラ画と出会い、原寸大で克明に葉っぱを描く独自の作風に至る。各地で個展やワークショップを開催。

心を育てる

こども仏教塾

子どもたちに知ってほしい「本当に大事なこと」を伝える
お釈迦さま(ブツダ)の言葉を紹介します。

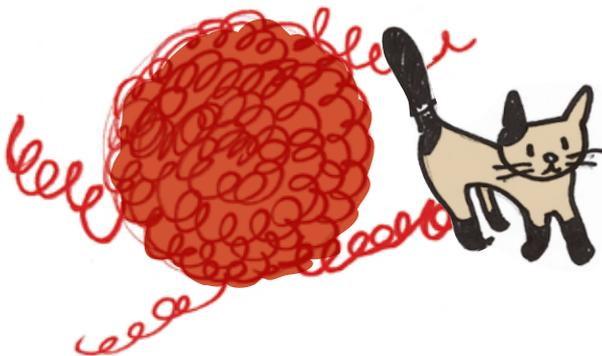
本当のことと、

そうでないことが

ごつちやになっていると、

何が本当なのか

わからなくなってしまう





本当のことは一つ

よのなかには、本当のものと、本当でないことがあります。本当のことは一つしかなく、本当でないことは、いくつもあります。

たとえば「にわとりはたまごから生まれる」というのは、一つしかない本当のこと。でも、「お母さん鳥のおなかから、ひよこが出てくる」とか、「セミみたいなさなぎから生まれる」と言う人もいるかもしれません。二つとも本当ではないことですが、それをまちがってしんじてしまう人もいます。ちゃんとべんきょうして、本当のことを知っていれば、まちがった考えをいくつももたなくてすむのです。

おうちのかたへ

世の中には真実（本当のこと）と不真実（本当でないこと）があり、不真実にとらわれてしまうと正しい生き方ができません。学校での勉強は、正しい知識を吸収し、さまざまな体験を通して真実を見る目を養うことが大きな目的です。「真実は一つであって、真実を知る人の心はぶれることがない」とブッダは言っています。本当のことを知り、これからの人生に活かすために勉強が大切なのだと伝えましょう。

“人生を心安らかに幸福に生きるための知恵”として仏教の考え方が見直されてきています。お釈迦さま＝ブッダのことばには、現代の子育てに十分応用できるたしかな教え・正しい知恵が詰まっています。

「ブッダがせんせい」宮下真著（永岡書店）より

こがねや石材特別企画

行ってきました!

第9回 お護摩の体験と 精進料理を 味わう会のご報告



今年は見事な快晴に恵まれ、開催することが出来ました。高尾山薬王院僧侶 佐藤秀仁さんの、丁寧な説明を聞きながら山内を巡り、普段はお参り出来ない仏舎利塔もご開帳頂きました。お護摩体験、精進料理、書院見学、「自分たちでは普段知ることのできない高尾山の奥深さが伝わりました」などのご感想を頂きました。皆さまと共に、楽しい一時を過ごさせて頂きましたことを、心より感謝申し上げます。



こがねやから



多磨霊園内での

●年間清掃

2ヶ月に一度墓所内を清掃いたします。

●ご命日・お正月・お彼岸などの供花

ご命日などご希望の日に、お花をお供えいたします。

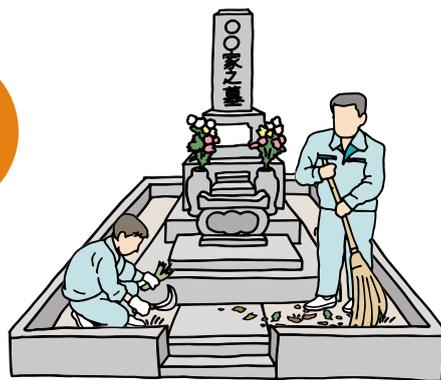
●植木のお手入れ

植木の植栽、刈り込みなど、お手入れをいたします。

●お墓のリフォーム・クリーニング

花立交換・取付、砂利の追加などいたします。

ご好評
いただいで
おります



お気軽にご相談下さい。

☎ 0120-371-121

POINT.

解き方のコツは、なるべく数字の多く入っている行、または列に着目し、数字を入れていくことです。

(例)

	7		1			3		
8		5			9	2		1
		1	7		4		8	
4	8			9			3	
9				8				7
	6		4	2			9	8
	1		8		5	7		
7		4	2			8		3
		8			3		1	

(例の答え)

6	7	9	1	8	2	3	4	5
8	4	5	6	3	9	2	7	1
2	3	1	7	5	4	9	8	6
4	8	7	5	9	6	1	3	2
9	5	2	3	1	8	4	6	7
1	6	3	4	2	7	5	9	8
3	1	6	8	4	5	7	2	9
7	9	4	2	6	1	8	5	3
5	2	8	9	7	3	6	1	4

8			2			1		A
1	4	5		9				
	6		8		4		9	5
			4			2		
4	D	1	6		2		C	
		2	1	8			3	9
	2					6		7
		6			8		5	
9			5			B	2	3

今回の出題は数独です。

脳の体操



ルール：数独は9×9の行と列で行われます。

- タテヨコ9マスの行と列には1~9までの数字が入ります。
- ひとつの行、ひとつの列内に、同じ数字は入れられません。
- 1ブロック(3×3)内にも、同じ数字は入れられません。

例のように、空欄に入るべき数字を入れて下さい。

正解者の中から抽選で



東京ドームジャイアンツ戦

観戦ペアチケット**30組60名**様にプレゼント

A B C D

※前号の答え「水飲場」

官製はがきに、答えA~Dを書き、

- ①「ゆかり野」または弊社へのご意見、ご感想
 - ②郵便番号・ご住所・お名前(フリガナ)・電話番号
- を明記の上、下記住所までご郵送下さい。

締切：令和2年3月20日(金・祝)(当日消印有効)

お送り先：〒184-0013

東京都小金井市前原町4-12-30 こがねや石材(株) ゆかり野アンケート係

※応募は1家族1組まで。当選者の発表は、チケットの発送をもって代えさせていただきます。尚、観戦日のご指定はできませんのでご了承下さい。

ご相談は無料で承ります。お気軽にお電話下さい!

生前贈与・遺産相続・遺言・ご供養に関する事など、お墓のことだけでなく様々なお悩みにもお応えいたします。

- ◆資産・遺産相続アドバイザー/税理士 保立 秀人
- ◆供養コンシェルジュ/こがねや石材(株) 見上 憲子・薮 栄子

ご相談いただいた方にエンディングノートを差し上げます。



0120-371-121

“困った時”にお気軽にご相談下さい。
供養コンシェルジュ他、専門スタッフが
お待ちしております。



寺院・霊園のご案内



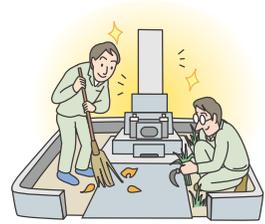
生前贈与・遺産相続など



ご会食



ご納骨・改葬・墓前法要



植木手入・年間掃除



僧侶・神官の手配



ご葬儀



仏壇・仏具・位牌

お知り合いの方の「ご紹介キャンペーン」を行っております。



全優石認定店

創業86年



大本山高尾山薬王院御用達・都知事許可（般28）第41587号



石産協加盟店



こがねや石材株式会社

仏事・墓石相談窓口



0120-371-121

<http://www.koganeya-148.com>

office@koganeya-148.com

〒184-0013 東京都小金井市前原町4-12-30
TEL.042-385-1121 FAX.042-385-0210

こがねや石材

検索

葬儀相談窓口
(24時間受付)



0120-456-444

(葬儀企画・施行 / (株)あい)